

開校48周年 一人ひとりを確実に伸ばす慈林小学校



# 慈林小だより



令和6年度11月号 令和6年10月31日

## いじめ撲滅強調月間

校長 鈴木真由美

10月26日（土）には多くの保護者の皆様にご来校いただき、音楽会公開を実施することができました。今年も会場の皆様から、子供たちの真剣で伸びやかな演奏に惜しみない大きな拍手をいただきました。ありがとうございました。

音楽会の取組では、子供たちは授業や休み時間に行う練習の中で、音楽会への意欲や友だちと音を合わせる力、音楽の流れにのって演奏する力を高め、ぐんぐんと成長していきました。また、音楽表現では「100回の練習より1回の本番」という言葉もあるように本番から学ぶことも多く、子供たちは緊張の本番を終えて、達成感や充実感に満ち溢れていました。私は、子供たちが何にでも一生懸命に取り組み、最後までやり抜く経験を積み重ねることは、将来社会に出たときに生きる力の基盤になると考えています。廊下に掲示された子供たちの音楽会の振り返りには、自分自身の頑張りやご家族から認められた嬉しさが綴られています。子供たちにとって親御さんの温かい言葉かけや賞賛は、最大のエネルギー源です。これからも学校と家庭の連携で、子供たちの成長を支えてまいりましょう。

さて、埼玉県では毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」として、各学校や地域で様々な取組を推進します。安行地区でも、安行東小学校・安行小学校・戸塚南小学校・慈林小学校の4校で共通した取組を推進します。今年のテーマは「いいねで深まる思いやり えがおいっぱい明るい未来へ」です。

安行思いやりいっぱい運動では、友だちの良いところを積極的に見つけたり、自分の良いところを教えてもらったりする児童主体の活動に全校で取り組みます。取組を通して、お互いの良さや違いを認め合い、いじめに向かわない児童の育成、笑顔いっぱいの明るい未来を目指す児童の育成に努めて参ります。

### <安行思いやりいっぱい運動 ～慈林小の取組～>

#### ① いいねカード

相手の良いところを記入したカードを交換し、廊下のファイルに入れて掲示する。

#### ② ピンクバッジ思いやりいっぱいすごろく

児童会が作成したピンクバッジを名札に着用し、思いやりのある行動に進んで取り組む。帰りの会で取組を振り返り、すごろくにシールを貼る。

#### ③ あいさつ運動ビンゴ

児童会が作成したピンクバッジを名札に着用し、朝のあいさつ運動に取り組む。あいさつの合言葉を意識して取り組めたら、ビンゴを塗る。

結びに、慈林小学校では「自分も友だちも大切だ」と思い行動できる子供の育成、自他の生命を大切にできる心豊かな子供の育成に、全教育活動を通して取り組んでおります。いじめ撲滅は、学校・家庭・地域が手を携えて、いじめの早期発見・早期解決、いじめに向かわない子供の育成に取り組み続けるしかありません。学校も家庭もアンテナを高くして、子供たちの些細な変化に気付いていけるよう、今後ともご協力をよろしく願いいたします。